

安芸灘エリアの振興策について

令和元年 1 1 月

広島県・呉市

○ この振興策の趣旨等

安芸灘エリアは、瀬戸内海特有の美しい自然景観や歴史や文化を感じることでできる観光資源に恵まれた地域であるとともに、レモンなどの園芸作物の栽培が盛んであり、また、オニオコゼやタチウオなどの好漁場を有しているなど、まさに「せとうちブランド」を牽引する地域であると、広島県・呉市ともに認識しています。

しかしながら、他の中山間地域と同様に、人口減少・高齢化が大きな課題となっており、今後より一層、広島県と呉市が連携し、地域の特性に応じた効果的な振興策を展開していく必要があります。

こうしたことから、広島県と呉市が共同で「安芸灘エリアの地域振興に係る検討会議」を設置し、安芸灘エリアの地域振興策を検討してきたものです。

この度、同会議において取りまとめたこの振興策は、安芸灘エリアの地域振興について、広島県と呉市が共有する当面の行動目標となるものです。

今後、広島県と呉市において相互に連携しながら、可能なものから実施していくとともに、実施に向けて更に課題があるものについては、引き続き検討を進め、早期実現を目指します。

1 地域の魅力発信・交流人口の拡大

日本遺産や世界の記憶、サイクリング、マリンレジャーなどのアクティビティ等、安芸灘エリアの魅力が国内外の多くの人に認知され、交流人口が拡大することを目指します。

(1) 安芸灘エリアの魅力発信

《取組の方向性》 観光客の周遊状況を把握し、日本遺産・世界の記憶、観光資源等の魅力の発信を効果的に実施する。

ア 観光調査のデータ等を活用した観光周遊の検討

観光に関する調査やそれに類する調査によるデータの収集・活用をし、滞在・周遊状況を分析することにより、地域観光の課題を明確にする。

活用すべきデータや分析手法などは、広島県と呉市が連携して検討し、共通の目標設定、プロダクトの開発等につなげる。

イ 日本遺産・世界の記憶の魅力発信

北前船、朝鮮通信使に代表される地域に伝わる文化資源のブラッシュアップを行うとともに、歴史的魅力や特色を伝えるストーリー化を図り、ガイド、イベント、国内外のインフルエンサー等を通じて魅力を発信する。

ウ 観光資源の魅力発信

広島県、呉市、広島県道路公社が連携して、外国人観光客にも人気があるサイクリング、マリンレジャーを始めとする観光資源の魅力を国内外に発信し、新規観光客を取り込む。

(2) 快適に滞在できる観光エリアの整備

《取組の方向性》 サイクリング、公衆無線LAN等に係るハード・ソフトを充実させることにより、快適に滞在できる観光エリアを整備し、国内外の誘客及び滞在時間の延長を図る。

ア サイクリングロードの環境整備

レンタサイクルの普及・促進、路面案内表示等の更新、道路標識の多言語化、マップ作成による情報発信など、サイクリングロードの環境整備を推進する。

イ 公衆無線LANの設置拡大

公衆無線LAN整備の事業効果や利用者のニーズ動向を踏まえ、H i r o s h i m a a F r e e W i - F i のアクセスポイントを増設する。

ウ 安芸灘大橋の利用助成

安芸灘とびしま海道の観光客誘致を促進し、観光の振興及び地域経済の活性化を図るために、安芸灘大橋有料道路回数通行券助成事業を継続する。

2 移住・定住の促進

安芸灘エリアに、安心して地域に飛び込み、活発・快適に島ライフを過ごす移住者が増加していくことを目指します。

(1) 移住希望者への的確な情報発信とフォローアップ

《取組の方向性》 東京圏で高まりつつある島暮らしへの機運を実際の移住につなげていくため、移住希望者への的確な情報発信とフォローアップの体制を強化する。

ア 移住フェア・移住セミナーの拡充

広島県と呉市が連携し、現在実施している東京圏での移住フェア・移住セミナーの開催回数及び内容を拡充する。既に活動している移住者のほか、既移住者も含め、移住希望者の琴線に触れるインフルエンサーを発掘し、移住フェア・移住セミナーで魅力を伝えてもらうことで、移住希望者に対し、より骨太で、かつ、細やかな情報発信を行う。

イ 移住者交流ネットワーク組織の創設

仕事や育児、教育などの困りごと、さらには移住希望者が移住に関する相談ができる相談ネットワークとして、広島県と呉市が連携して地域おこし協力隊OB・OGや地域の移住者同士をつなぐ交流ネットワークを創設する。

(2) 暮らしを快適にするICT基盤の確立

《取組の方向性》 将来的に、サテライトオフィスやサテライトスクール、遠隔医療などにより、島暮らしの課題が克服できるようICT基盤を確立する。

ア 高速通信網の整備等

現在、安芸灘エリアを含む市内の一部地域では、電話回線を利用したADSL等による低速インターネット環境であるため、光回線を利用した高速インターネット環境を整備する。

(3) 仕事の選択肢の拡大

《取組の方向性》 移住者が生活設計を描ける仕事の選択肢を拡大するため、島の産業を活性化させていく。

⇒【後掲】3(1) 農水産業の活性化

⇒【後掲】3(2) 観光産業の活性化

(4) 安芸灘大橋の利用助成

《取組の方向性》 島内に居住する18歳以下の子どもがいる子育て世帯の負担を軽減するとともに、島への移住・定住を促進するため、安芸灘大橋の通行料金の助成事業を実施する。

3 島の産業の活性化

安芸灘エリアの強みを活かした特色ある産業が活性化し、移住者が生活設計を描ける仕事の選択肢が増えていくことを目指します。

(1) 農水産業の活性化

《取組の方向性》 レモンなどの柑橘や、オニオコゼ、タチウオ等の水産物など、せとうちブランドを牽引する地域としてのポジションを確立するとともに、農業・漁業に係る経営体の収益性・生産性の向上に向けて支援する。

ア 柑橘栽培等の担い手育成及び園地の集積

広島県果樹農業振興対策センター宮盛農園における研修プログラムにより、意欲と経営能力のある次世代の農業の担い手の育成に引き続き努める。

また、研修の修了者が、地域において生活設計のできる営農を開始できるよう、広島県と呉市が連携し、現地の状況を踏まえながら、所有者が異なる小規模園地を一定規模以上の園地へと集積する取組を促進する。

イ 農水産品のブランド化の推進

商品価格の向上に向け、レモンなど地域の特色ある農水産品のPR・販路拡大を図る。また、海外販路の開拓も視野に、海外バイヤーの招へい・販路拡大を目指す。

(2) 観光産業の活性化

《取組の方向性》 観光業を営んでいる、又は、これから挑戦しようとしている民間企業や市民の活動を支援していくため、広島県と呉市が連携し、観光周遊調査や地域の魅力発信を展開していく。

⇒【再掲】 1 (1)ア 観光調査のデータ等を活用した観光周遊の検討

⇒【再掲】 1 (1)イ 日本遺産・世界の記憶の魅力発信

⇒【再掲】 1 (1)ウ 観光資源の魅力発信

(3) ビジネスマッチング機会の拡大

《取組の方向性》 ビジネス交流会や勉強会などのビジネスマッチング機会を、移住者らが自ら企画していくためのスタートアップとして、移住者同士をつなぐ交流ネットワーク組織を創設する。

⇒【再掲】 2 (1)イ 移住者交流ネットワーク組織の創設

(4) スマートビジネスの環境整備

《取組の方向性》 将来的に、サテライトオフィスやスマートアグリを始めとするICTを活用したビジネス形態が可能となるよう、環境整備を行う。

⇒【再掲】 1 (2)イ 公衆無線LANの設置拡大

⇒【再掲】 2 (2)ア 高速通信網の整備等